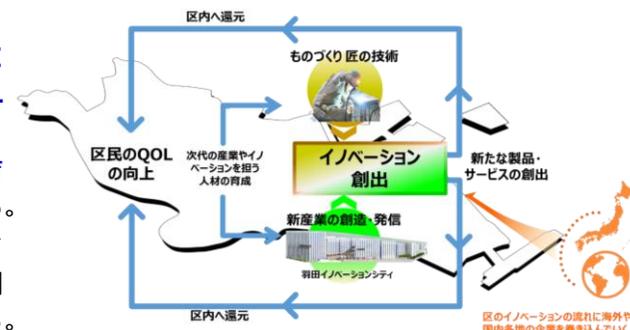


羽田から未来へはばたくおおたSDGs未来都市の実現 ～新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市～

- 大田区の産業は、従来からの高度な技術を持つ中小製造業が集積する「**ものづくりのまち**」という側面と、羽田イノベーションシティを起点に「**新産業を創造・発信するまち**」という二つの側面を有している。
- 2030年の大田区は、この二つの側面が更に磨き上げられるとともに、「**羽田を起点とした新たな産業**」と「**長年培われた匠の技**」とが強固に結びつくことで、**大きなイノベーションを生み出す流れが形成**されている。
- このイノベーションにより、区内産業の持続的な成長が実現するとともに、**不確実性の高い社会において発生する新たな地域課題の解決につながる製品やサービス**が次々と生み出され、**区民のQOL向上**につながっている。
- そして、区民のQOLが向上した大田区において、**次代の区内産業やイノベーションを担う人材が育成**されることで、**将来にわたって持続的にイノベーションを起こし続ける仕組みが構築**されている。
- また、日本の玄関口であり、国内の交通の結節点でもある「羽田」を有する強みを生かし、この**イノベーションの流れに海外や国内各地の企業を巻き込む**ことで、更なる新たな製品・サービスの創出につながり、**新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市**としての地位が確立している。



2030年の
あるべき姿

1 区内産業の「稼ぐ力」が向上し、持続可能な成長を続けるまち

- 区内企業の人手不足の解消や生産性の向上により、長年培われてきたものづくりをはじめとする大田区ならではの技術が失われることなく、更に高度な技術へと磨き上げられている。
- 羽田イノベーションシティから生まれた新たな産業やサービスが、区内各地域で磨き上げられた高度な技術と結びつくことで、新たなイノベーションの創出へとつながり、区内産業の「稼ぐ力」が向上している。

2 環境と産業が調和した持続可能なまち

- 区内企業にとって、環境に配慮した形での設備投資や事業推進が当たり前となっており、環境を犠牲にすることなく区内産業が成長を続けている。
- 周辺自治体や民間企業と連携しながら、水素等の利活用を積極的に推進しており、次世代クリーンエネルギーの利活用という点で他都市のモデルとなっている。
- 脱炭素や3R等の意識が、行政のみならず区民や民間企業等にも浸透し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組が着実に推進されている。

3 イノベーションの担い手が将来にわたって持続的に生み出されるまち

- 子どもから大人まで、あらゆる世代が多様な学びを享受でき、区内産業やイノベーションの担い手が次々と生み出される環境が整備されている。
- 「地域力」を生かした包摂的なサポートにより、子育てに関する不安や負担が解消され、将来にわたってまちの活力が維持されている。

2030年の
あるべき姿
の実現に向けた優先的
に目指す
ゴール・
ターゲット

KPI
(2030年)

経済

- 8 国内総生産の増加
- 9 製造業の生産性向上
- ゴール8 | 働きがいも経済成長も (8.2 8.3)
- ゴール9 | 産業と技術革新の基盤をつくろう (9.2 9.4)

指標	目標値
製造品出荷額等	5,000億円以上/年間
製造業の一人当たり付加価値額	664万円
HiCityにおける経済波及効果	約120億円

環境

- 8 国内総生産の増加
- 12 気候変動に具体的な対策を
- 13 気候変動に具体的な対策を
- ゴール8 | 働きがいも経済成長も (8.4)
- ゴール12 | つくる責任つかう責任 (12.5 12.8)
- ゴール13 | 気候変動に具体的な対策を (13.3)

指標	目標値
大田区の温室効果ガス排出量	1,756kt-CO ₂
省エネ行動に取り組む区民の割合	67.1%

社会

- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう
- ゴール4 | 質の高い教育をみんなに (4.4)
- ゴール8 | 働きがいも経済成長も (8.5)
- ゴール17 | パートナリシップで目標を達成しよう (17.1)

指標	目標値
大田区内従業者数	360,000人
子育て環境や支援に対する満足度	60%

自治体SDGs推進に資する取組(2023~2025年の3年間に実施)

経済

柱① 羽田を起点とした新産業・イノベーションの創出

取組

- ①「新産業創造・発信拠点」の整備
- ②「ベンチャーピッチin羽田」によるスタートアップ支援
- ③海外スタートアップ誘致によるイノベーションの加速
- ④入居型産業施設の運営を通じたイノベーションの創出促進
- ⑤次世代産業創造及び産業クラスターの形成促進
- ⑥新製品・新技術開発の促進
- ⑦海外取引支援～匠の技術を世界にPR～
- ⑧デジタル受発注プラットフォームを活用した「稼ぐ力」の強化

KPI(2025年)

指標	目標値
HICityにおける企業交流数(実証実験等プロジェクト件数)	15件/年間
新製品・新技術開発助成(実用化・製品化助成)を受けた企業のうち、展示会出展または取引につながった企業の割合	100%
海外取引相談事業における支援を通じた新規の海外マッチング件数	61件

柱② ものづくりをはじめとする区内産業の維持・発展

取組

- ①新たなものづくり工場の誘致
- ②円滑な事業承継の促進
- ③新規創業者の発掘・育成
- ④「OTAデジタル×PIO」による「稼ぐ力」を高めるデジタル化
- ⑤経営相談窓口「PiOフロント」を通じた中小企業の経営基盤強化
- ⑥企業向けBCPの普及啓発

KPI(2025年)

指標	目標値
ものづくり工場立地助成、工場アパート立地助成、ものづくり企業立地継続補助金、研究開発企業等拠点整備助成の認定件数	150件
大田区創業支援事業計画における事業を通じて創業した事業者数	72件/年間
デジタル化推進のためのプラットフォーム(OTAデジタル×PIO) 参画者数	660者/年間

環境

柱① 環境に配慮した企業活動の推進

取組

- ①ものづくり工場への省エネ設備導入促進
- ②まちに優しい工場表彰制度 大田区「優工場」
- ③都内自治体で最多の銭湯数!銭湯のクリーンエネルギー化の推進
- ④SDGsを推進する企業のための中小企業融資あっせん制度
- ⑤区内企業の環境に配慮した活動の促進

KPI(2025年)

指標	目標値
大田区の産業・業務・運輸部門における温室効果ガス排出量(事業者との連携)	1,389千t-CO ₂
区の助成事業を活用し環境負荷の低減に取り組んだ企業数(ものづくり工場立地助成、ものづくり企業立地継続補助金、研究開発企業等拠点整備助成)	10件

柱② 多様な主体の行動変容が導く脱炭素・循環型社会の実現

取組

- ①「(仮称)大田区脱炭素戦略」の策定・推進(2023年3月策定予定)
- ②環境先進都市の実現に向けた区役所による率先行動
- ③環境教室等の実施による子どもの環境意識の向上
- ④区有地を活用したEVカーシェアリングの普及促進
- ⑤コミュニティバスのEV化
- ⑥水素等利活用の推進による脱炭素社会の実現
- ⑦プラスチックに関する資源循環体制の構築

KPI(2025年)

指標	目標値
大田区の温室効果ガス排出量	2,471千t-CO ₂
大田区役所の温室効果ガス排出量	22,541t-CO ₂

社会

柱① 次代の区内産業・イノベーションの担い手の育成

取組

- ①区内企業等と連携した創造的な力を育む教育の推進
- ②ものづくり人材育成プロジェクト
- ③各校での多様な学びの推進
- ④グローバル人材の育成(新たな国際教育カリキュラムの推進)
- ⑤職人との交流を通じた次世代産業人材の育成
- ⑥ICTを活用した生涯学習情報の発信と学習機会の拡充

KPI(2025年)

指標	目標値
自身の子どもが、将来への希望を持って、学び、成長することができていると答えた人の割合	調整中
過去1年間の生涯学習の実行状況	現況値より増加

柱② 地域力を生かした将来のまちの活力の維持

取組

- ①妊娠期から育児期までの切れ目ない支援の強化
- ②地域とつくる支援の輪プロジェクト
- ③子どもの孤独・孤立を防ぎ、気づき・見守る、切れ目のない支援
- ④地域力を活かした大田区版「地域共生社会の実現」の推進

KPI(2025年)

指標	目標値
若い世代(10・20~30代)における定住意向	80.9%
育てにくさを感じた時相談先を知っているなど解決する方法を知っている親の割合(1.6歳児)	82.0%
ファミリー・サポートおおた(区民相互の共助による子育て支援)の活動状況	10,251件/年間

自治体SDGsモデル事業(2023~2025年の3年間に実施)

多様な主体との連携による、持続的なイノベーションモデルの構築

モデル事業の概要

区内企業の「稼ぐ力」の強化や区民のQOL向上につながるイノベーション創出を強力に推進するため、区外の企業や人材を含む新たな連携創出や最先端技術の活用を推進する。合わせて、創造的な力を育む新教科創設など次代の担い手育成を強化し、将来にわたってイノベーションが起り続ける持続可能なまちを実現する。

経済

取組

- ①-1 デジタル受発注プラットフォームを活用した「稼ぐ力」の強化【再掲】
- ①-2 5G等の新技術を活用したイノベーションの創出促進
- ①-3 新たなものづくりビジネスを創出する 創業支援施設「六郷BASE」
- ①-4 大田区SDGs副業の推進

KPI(2025年)

指標	目標値
デジタル受発注プラットフォームの登録企業数	120社/年間
六郷BASEでの多様なステークホルダーとの連携実績数	150件

環境

取組

- ②-1 水素等の利活用推進による脱炭素社会の実現【再掲】
- ②-2 ALLおおたで脱炭素に挑む「区民運動おおたクールアクション」の推進
- ②-3 エコフェスタワンダーランドの開催

KPI(2025年)

指標	目標値
大田区の温室効果ガス排出量	2,471千t-CO ₂
「おおたクールアクション推進連絡会」の各賛同団体の活動件数	100件

社会

取組

- ③-1 ものづくり人材育成プロジェクト【再掲】
- ③-2 新たな国際教育カリキュラムの推進
- ③-3 ご近所さんを活用した0歳児養育家庭への訪問支援

KPI(2025年)

指標	目標値
自身の子どもが、将来への希望を持って、学び、成長することができていると答えた人の割合	調整中
困りごとや心配ごとがあった場合の相談先がないと答えた人の割合	2.7%

三側面をつなぐ統合的取組

取組概要

羽田に集積する国内外のヒト・モノ・情報の交流を活性化させ、公民連携によるスマートシティの構築などを通じてイノベーションを創出し、ものづくり産業の更なる発展を図る。また、将来の地域社会を担う人材を育成し、匠の技術力と多様な主体が掛け合わさることで新たな価値を創造し、持続可能なおおたの未来を創る。

具体的取組

- ①持続可能なおおたの未来を創る「HANEDA GLOBAL WINGS」の取組
- ②大田区公民連携SDGsプラットフォームによる公民連携、民民連携の促進
- ③「**おおたフード支援ネットワーク**」を通じた食品ロス削減への取組
- ④大田区独自教科「おおたの未来づくり」の新設を通じた人材育成

KPI(2025年)

指標	目標値
大田区公民連携SDGsプラットフォームを通じた地域課題解決に資する取組件数	60件
水素ステーション使用台数	2,000台
フードドライブの主旨に賛同し、区及び社協、関係団体を通じて、活動に参加した人数	2,000人
HICityにおける実証実験参加企業数	60社
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた児童の割合（小学校第6学年）	55.0% (2022年度)